

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 10 月（着任 2 年 4 カ月目）
主な活動	1 静岡県浜松市天竜区二俣町の視察 2 第 4 回全国ローカル鉄道サポーターズサミット in 枕崎に参加

1. 静岡県浜松市天竜区二俣町の視察

鉄道の遊休施設を活用するとともに、まちづくりに活用している静岡県浜松市天竜区二俣町を視察しました。

現在は第三セクターの天竜浜名湖鉄道が運行している場所で、二俣本町駅舎内にある施設をホテルとして改築したホテルや、近くにある市街地を視察しました。

駅前には住宅地でしたが、下校時間と重なったためか、学生が駅待合室や付近で列車の到着を待っていたりするなど、西穎娃駅と似たような光景を目にしました。

町の中心から少し離れた場所にあるため、ホテルにある自転車を使い、中心地まで行きました。城跡や自動車メーカー創設者の記念館があるなど、歴史を感じながら見て回りました。

所々に古い建物をリノベーションして活用した店舗があり、回遊できて立ち寄りたくなる目的地を作ろうとする取り組みを見ながら、鉄道を利用して街を探るということや、日常の中にある非日常を感じて見つけることの大切さを教えられる場所で、南九州市でも作っていきたいと思いを新たにしました。



写真：（左）駅舎を活用したホテル （右）古い建物を活用した店舗

2. 第4回全国ローカル鉄道サポーターズサミット in 枕崎に参加

地域に根差した鉄道の活性化に取り組んでいる全国各地のサポーターが集まり、お互いの活動内容について紹介し意見交換を行う第4回全国ローカル鉄道サポーターズサミット in 枕崎に参加しました。

肥薩線、吉都線、指宿枕崎線の活動に携わっている方々からの事例紹介があり、各線区の取り組みを活かした発表がされました。指宿枕崎線での発表で私も紹介されたのは驚きと嬉しさが混ざりましたが、活動していて良かったと思えた瞬間でした。

枕崎駅の駅舎デザインに携わった川西康之様の基調講演では、デザインの観点から見た活用方法が話されました。魅せる駅にする、という言葉には、デザインに対する思いや利用者の方が快適に駅という空間を楽しむためにはどのようにすれば良いかを考えているという思考の深さや、駅という無機物に生命を吹き込む素晴らしさを感じました。また、新たなありかたも提案されましたが、聴いていて斬新な考えであるという驚きと、利用する楽しさが増してくるような内容でした。

シンポジウムでは、指宿枕崎線の地域との未来像について、川西様の他に鉄道系YouTuberの鐵坊主様、鹿児島県総合政策部交通政策課長の鈴木圭祐様がお話しました。これまでの取り組みを評価しつつも新たな交通体系や今後のありかた、他線区での取り組みなど、多岐にわたる話題を話されましたが、非常に分かりやすく話されており、初めて聴く方のことを考えていて素晴らしいと感服しました。

都市部の鉄道の様相と異なり、考え方によっては活用方法は幅広いのではないかと考えられる新しい視点が生まれるサミットでした。



写真：サミットでのシンポジウムの様子